

消雪パイプに関する
調査表記入マニュアル

[E170] 消雪パイプ基本

この調査表は、消雪パイプに関する基本的データを登録するためのものである。なお、占用の扱いをしている消雪パイプに関しても登録の対象とする。（直轄指定管理区間調査より）

1. 一般的注意事項

- (1) データは次の単位で作成する。
 - 路線毎とする。
 - 消雪パイプ設置区分毎とする。
- (2) 消雪パイプに関する写真・図面類については「E171消雪パイプ図面類」にて作成する。
- (3) 消雪パイプに関する補修履歴等については「E172消雪パイプ補修歴」にて作成する。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3
- (N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

- (P) 名称

該当する消雪パイプ施設の名称を、10文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び

英数字) で記入する。名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入する。

(Q) 百米標自 (km)

該当する区間の距離標 (百米標) を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(R) 距離自 (m)

該当する区間の距離標 (百米標) からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(S) 百米標至 (km)

該当する区間の距離標 (百米標) を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(T) 距離至 (m)

該当する区間の距離標 (百米標) からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(W) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ——> $\begin{array}{c} \underline{361} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (3 : 昭和)} \end{array}$

(X) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「*」を記入する。

(記入例) 平成5年 ——> $\begin{array}{c} \underline{405} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (4 : 平成)} \end{array}$

(Y) 完成年月

該当する消雪パイプが完成した年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1983年 8月 ——> 198308

(Z) 上り下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上り線	1
下り線	2

(AB) 所在地自

該当する区間の始点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(AC) 所在地至

該当する区間の終点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(AD) 設置区分C：◆

設置区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
車 道	1 1
歩 道	1 2
歩道、自転車歩行者道	1 3
車道＋歩道兼用	1 4
車道＋歩道、自転車歩行者道兼用	1 5
橋梁（高架橋も含む）	1 6
横断歩道橋	1 7
トンネル	1 8
洞 門	1 9
スノーシェッド	2 0
独立専用自歩道	2 1
橋側歩道橋	2 2
そ の 他	9 9

(AF) 設置道路延長（m）：◆

消雪パイプが設置されている道路の延長を記入する。

(AG) 施設区分C：◆

施設の区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
散水式	1
無散水式	2

(AI) 無散水設置延長 (m) : ◆

該当する区間における無散水式の設置延長を、小数点以下1位まで記入する。(散水式の場合は‘*’を記入)

(AJ) 無散水設置幅 (m)

該当する区間における無散水式の設置幅を、小数点以下1位まで記入する。(散水式の場合は‘*’を記入)

(AK) 占用物件別C : ◆

該当する区間の消雪パイプの占用別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
占 用	1
自 管 理	2

(AM) 路側部設置位置C

(AO) 道路中央部設置位置C

(AQ) 輪間部設置位置C

(AS) 歩道内設置位置C

(AU) その他設置位置C

上記 (AM) ~ (AU) については、各々の位置に対する消雪パイプの有無について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
設置無し	0
設置有り	1

(AW) 車道部幅 (m)

消雪パイプの車道部の幅員について、小数点以下1位まで記入する。

(AX) 歩道部幅 (m)

消雪パイプの歩道部の幅員について、小数点以下1位まで記入する。

(AY) 縦断勾配 (%)

該当する消雪パイプ区間の道路の縦断勾配を、小数点以下1位まで記入する。

(AZ) 水源種別C

水源種別区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
地 下 水	1	湖 沼	4
河 川 水	2	温 泉 水	5
海 水	3	そ の 他	9

(BB) 水源市区町村

水源の位置の地名（番地等まで）を、15文字以内の日本語で記入する。

(BC) 水源百米標 (km)

水源の位置の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

ただし、水源設置が道路敷から離れており、百米標が記入できない場合は、最も近い距離標もしくは‘0’を記入する等、関係部署と協議する。

(BD) 水源距離 (m)

水源の位置の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(BE) 水源名称

水源の名称を、10文字以内の日本語で記入する。

(BF) 井戸深さ (m)

地表面からの井戸の深さを、小数点以下1位まで記入する。

(BG) ストレーナ長 (m)

ストレーナの長さを、小数点以下1位まで記入する。

(BH) 夏季井戸水位 (m)

夏季の井戸の水位について、小数点以下1位まで記入する。なお、水位は地表面からの深さで表す。

(BI) 運転時井戸水位 (m)

運転時の井戸の水位について、小数点以下1位まで記入する。なお、水位は地表面からの深さで表す。

(BJ) ポンプ形式C

ポンプ形式について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
水中モータポンプ (深井戸用)	1 1
水中モータポンプ (一般清水用)	1 2
汎用うず巻ポンプ	1 3
軸流ポンプ	1 4
斜流ポンプ	1 5
そ の 他	9 9

(BL) ポンプ効率

ポンプ効率を記入する。

(BM) ポンプ吐出量 (m³/min)

ポンプの吐出量 (供給必要水量) を記入する。

(BN) 送水管延長 (m)

該当する区間における送水管の延長 (のべ延長) を、小数点以下1位まで記入する。

(B0) 送水管最大径 (mm)

(BP) 送水管最小径 (mm)

上記 (B0)、(BP) については、送水管の管径を、最大径、最小径で記入する。なお、管径が1種類の場合には、最大及び最小の記入欄に同値を記入する。

(BQ) 送水管曲り箇所数

該当する区間における送水管の曲がり部分の箇所数 (のべ箇所数) を記入する。

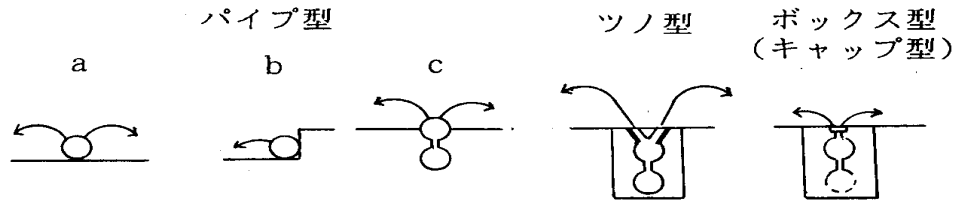
(BR) 噴水管散水管延長 (m) : ◆

該当する区間における噴水管 (散水管) の延長 (のべ延長) を、小数点以下1位まで記入する。(無散水式の場合は '＊' を記入)

(BS) ノズル形式1 C

消雪パイプの散水ノズル形式について、該当するコードを記入する。なお、複数のノズル形式 (代表的なもの4種類まで) がある場合は、各ノズル形式2 C～ノズル形式4 Cの項目に一種類づつ記入する。(無散水式の場合は '＊' を記入)

区 分	コード	区 分	コード
パイプ型 a	1	ボックス型 (キャップ型)	5
b	2	その他	9
c	3		
ツノ型	4		



散水ノズルの形状分類

(BU) ノズル間隔1 (m)

消雪パイプの散水ノズルの平均間隔を、小数点以下1位まで記入する。なお、複数のノズル間隔（代表的なもの4種類まで）がある場合は、各ノズル間隔2～ノズル間隔4の項目に一種類ずつ記入する。（該当しない場合は‘*’を記入）

(BV) ノズル本数1

消雪パイプの散水ノズルの本数（のべ本数）を記入する。なお、複数の散水ノズル（代表的なもの4種類まで）がある場合は、その種類毎の本数をノズル本数2～ノズル間隔4の項目に記入する。（該当しない場合は‘*’を記入）

(BW) ノズル形式2 C

2種類目の散水ノズル形式について、該当するコードを記入する。（該当しない場合は‘*’を記入）

(BS) ノズル形式1 Cのコード表と同様。

(BY) ノズル間隔2 (m)

2種類目の散水ノズルの平均間隔を、小数点以下1位まで記入する。（該当しない場合は‘*’を記入）

(BZ) ノズル本数2

2種類目の散水ノズルの本数を記入する。（該当しない場合は‘*’を記入）

(CA) ノズル形式3 C

3種類目の散水ノズル形式について、該当するコードを記入する。（該当しない場合は‘*’を記入）

(BS) ノズル形式1 Cのコード表と同様。

(CC) ノズル間隔 3 (m)

3種類目の散水ノズルの平均間隔を、小数点以下1位まで記入する。(該当しない場合は‘*’を記入)

(CD) ノズル本数 3

3種類目の散水ノズルの本数を記入する。(該当しない場合は‘*’を記入)

(CE) ノズル形式 4 C

4種類目のノズル形式について、該当するコードを記入する。(該当しない場合は‘*’を記入)

(BS) ノズル形式 1 C のコード表と同様。

(CG) ノズル間隔 4 (m)

4種類目の散水ノズルの平均間隔を、小数点以下1位まで記入する。(該当しない場合は‘*’を記入)

(CH) ノズル本数 4

4種類目の散水ノズルの本数を記入する。(該当しない場合は‘*’を記入)

(CI) 舗装種別 C

舗装種別について代表的なものを選定し、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
未 舗 装	1	インターロッキング系	6
コンクリート系	2	透水性As系	7
アスファルト系	3	排水性As系	8
平板ブロック系	4	そ の 他	9
Asブロック系	5		

(CK) 電力契約種別 C

契約種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	
定 額 電 灯	1	
従 量 電 灯 A	2	注1)
B	3	
C	4	
公衆街路灯 A	5	
B	6	注2)

C	7
業務用電力	8
融雪電力	A
低圧電力	B
その他	9

注1) 関西、中国及び四国電力株式会社では従量電灯のAとBを合せてAとし、沖縄電力株式会社では従量電灯のA、B、およびCの区分はない。

注2) 北海道、東北、東京、北陸、中部、九州、および沖縄電力株式会社では公衆街路灯のBとCを合せてBとする。

(CM) 電力契約番号

電力の契約番号を、20文字以内の数字で記入する。

(CO) 電力支払営業所名

使用電力料を支払っている電力会社名、及び営業所名を、15文字以内の日本語で記入する。

(CP) 関連施設名称

(AD) 設置区分Cで指定した工種の施設名を、10文字以内の日本語で記入する。

(CQ) 関連施設整理番号：◆

(AD) 設置区分Cで指定した工種の親表（各基本のデータ）の整理番号を記入する。

(CR) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(CS) 市区町村自C：◆

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401
(検査数字は含まない)

(CU) 市区町村至C

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード：08403
(検査数字は含まない)

[E 1 7 2] 消雪パイプ補修歴

この調査表は、消雪パイプの補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E170消雪パイプ基本」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
散水ノズルの修復	1 1
" 取替え	1 2
散水管の修復	1 3
" 取替え	1 4
送水管の修復	1 5
" 取替え	1 6
ポンプの修復	1 7
" 取替え	1 8
取水部分の修復、補強	1 9
電気系統の修復	2 0
井戸の修復、改修	2 1
嵩上げ	3 1
その他	9 9

(S) 備考

損傷原因等について50文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/3

E170：消雪パイプ（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
完成年月	199901	西暦		○
上り下り区分C	半角1文字			○
所在地自	全角30文字			○
所在地至	全角30文字			○
設置区分C	半角2文字		○	○
設置道路延長	9999	m	○	○
施設区分C	半角1文字		○	○
無散水設置延長	99.9	m	○	○
無散水設置幅	99.9	m		○
占用物件別C	半角1文字		○	○
路側部設置位置C	半角1文字			○
道路中央部設置位置C	半角1文字			○
輪間部設置位置C	半角1文字			○
歩道内設置位置C	半角1文字			○
その他設置位置C	半角1文字			○
車道部幅	99.9	m		○
歩道部幅	99.9	m		○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

E170：消雪パイプ（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
縦断勾配	99.9	%		○
水源種別C	半角1文字			○
水源市区町村	全角15文字			○
水源百米標	999.9	k m		○
水源距離	9999	m		○
水源名称	全角10文字			○
井戸深さ	999.9	m		○
ストレーナ長	999.9	m		○
夏季井戸水位	99.9	m		○
運転時井戸水位	99.9	m		○
ポンプ形式C	半角2文字			○
ポンプ効率	999			○
ポンプ吐出量	999	m ³ /分		○
送水管延長	9999.9	m		○
送水管最大径	999	m m		○
送水管最小径	999	m m		○
送水管曲り箇所数	999			○
噴水管散水管延長	9999.9	m	○	○
ノズル形式1 C	半角1文字			○
ノズル間隔1	9.9	m		○
ノズル本数1	9999			○
ノズル形式2 C	半角1文字			○
ノズル間隔2	9.9	m		○
ノズル本数2	9999			○
ノズル形式3 C	半角1文字			○
ノズル間隔3	9.9	m		○
ノズル本数3	9999			○
ノズル形式4 C	半角1文字			○
ノズル間隔4	9.9	m		○
ノズル本数4	9999			○
舗装種別C	半角1文字			○
電力契約種別C	半角1文字			○
電力契約番号	半角20文字			○
電力支払営業所名	全角15文字			○
関連施設名称	全角10文字			○
関連施設整理番号	半角8文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

E170：消雪パイプ（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
備考	全角50文字			○
市区町村自C	半角5文字		○	○
市区町村至C	半角5文字			○

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E172：消雪パイプ（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角2文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照